

平成27年度第1回幕別町創生総合戦略審議会 会議要旨

- 1 日 時 平成27年6月30日（火） 18:30～20:30
- 2 場 所 町民会館2階講堂
- 3 出席委員 森委員、山内委員、滝田委員、森岡委員、木島委員、藤原委員、大槻委員
宮田委員、山本委員、喜多委員、田巻委員、仙北谷委員、水口委員、中村委員
宮本委員、堀川委員、三島委員、村田委員
(欠席：土谷委員、佐々木委員)
- 4 町出席者 飯田町長、細澤室長、山端参事、河村副主幹、有田主事、西嶋副主幹
- 5 一般社団法人北海道開発技術センター出席者 越後主席研究員、小西研究員、阿部部長
- 6 会議要旨
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状の交付
 - (3) 町長挨拶
 - ・ 1市3町においては、幕別町は年少人口や生産人口が少ないことが特徴
 - ・ 中学生までの医療費の無料化などを提案したことも総合戦略のひとつの具体策
 - ・ 「幕別町で子どもを産み、育てたい」という願いを叶えるための審議会としていきたい。
 - (4) 委員の紹介
 - (5) 会長の選出
 - ・ 村田委員より自薦他薦の意見の後、森委員より藤原委員の推薦あり。藤原会長受諾。
 - (6) 会長挨拶
 - ・ 平成27年度より幕別町商工会会長職に就任。微力ながら貢献したい。
 - (7) 職務代理者の指定
 - ・ 藤原会長から宮田委員の指定。宮田委員受諾。

～ 休憩時に諮問 ～

7 議事概要

人口ビジョン及び総合戦略の策定について
資料2、参考資料により西嶋副主幹から説明

中村委員 1回の審議時間はどれほどか。

西嶋副主幹 開催は午後6時30分頃から、1回につき長くても2時間程度を予定している。

(1) 幕別町の人口動向について

資料3により北海道開発技術センター越後研究員から説明

水口委員 20歳代が元々少ないのではなく大学に入学することにより転出。30歳になると戻ってくるのか札幌内地区に家を建てるのかで増えている。年齢ごとの転入・転出の人数を比較すると何歳が出て何歳が入ってくるのか判断できる。転入は宅地造成とのタイミングが社会増の背景となっていることを踏まえてほしい。宅地造成を予定していないのであれば、転入による社会増は期待できない。

堀川委員 統計的なデータの考察はいつ頃知り得ることができるのか。

西嶋副主幹 8月末の第2回審議会に提出できるよう考えている。

中村委員 委託会社への委託の経緯・内容を説明してほしい。

- 西嶋副主幹 専門的な視点から高度な人口分析や詳細な考察を要するため、人口分析やアンケート調査、商業・医療機関の聞き取り、人口動向の展望を委託した。
- 細澤室長 本町は3地区ごとに特性がある。単純な人口推計ではなく地域の特性に応じて具体的な人口推計を行う必要があることから委託している。
- 中村委員 そうではなくて、何と何を委託したのか聞いている。
- 越後研究員 ①人口動向の分析、②アンケート3000人以上、③他の地域の事例収集、④ワークショップ、⑤将来人口の推計と分析、大きく分けて5つある。
- 仙北谷委員 どこに住んでいるかは結果であり、要因を知る必要がある。分析の目的として住民基本台帳とあわせて雇用状況を見ていくことでどこに住むかに繋がる。総合戦略では雇用をいかに作っていくかがポイントになっている。誰がどこに住んでいるかだけでなく、どこでどんな仕事をしているのか見た方がよいし、そのようなデータもあると住民異動の背景が分かるので議論が深まる。雇用状況を示すためには、実際の庁内の雇用先データも含めたデータと関連づける必要がある。資料として単年度集計より社会増減は突発事項があるので数年分の平均値の方が傾向を掴みやすいと思う。
- 越後研究員 現時点では、統計上のデータで把握しきれないので、アンケートとヒアリング調査で補完する。
- 水口委員 事業所統計などを利用すると良いと思う。その上で、全国と比べてここは農業が、札内地区は商業などが多いなど比較出来るのでは。ただここは帯広市に就職しているのがどのくらいあるのかが分からない。また、昼間の人口と夜の人口も比べて見るとこの町の特徴は整理できると思います。
- 水口委員 統計は全てが分かるものではない。産業を伸ばすといっても、どの産業が不足していて、どれだけの雇用の吸収力があるのか分からないので、統計で不明な点はアンケートで把握していくのが良い。
- 堀川委員 調査してほしいことは委員からリクエストできるのか。
- 越後研究員 出来る・出来ないかは別としてアドバイスは受け付ける。

(2) 住民アンケートの実施について

資料4により北海道開発技術センター越後研究員から説明

- 宮田委員 高校生に対するアンケートで、町外の子に対する質問とは少しかけ離れている。もしこの内容で調査するのなら中学生に対して行うのはどうか。
- 喜多委員 幕別町内の子で町内の高校に通学しているのは3割程度。この内容では意味をなさないと思う。
- 仙北谷委員 雇用の面を考えると、地域の基幹産業が雇用を支えるというのは基本。幕別の基幹産業は農業。農業が雇用なり人口異動にどのような影響を与えるかは大きなポイント。これまでの幕別に限らず十勝の農業の歴史は規模拡大の歴史。これは人口が減少して離農跡地を手に入れて規模拡大してきた。今示してもらった人口動向の資料で圧倒的に人口が減少しているのは農村部。農業が今後も人口を減らすような形で産業として伸びていかざるを得ないこのままの方向性で行くのか微妙な問題を含む。幕別でも雇用を入れて規模拡大している農家法人がある。今後そのような法人がどういう風に増えていくのか、雇用を支えていくのか気になる。農業が成り立たなければ町も成り立たなくなる。雇用する側としてのアンケートも必要ないのか。そのような視点があった方がよいと思う。

- 藤原会長 この点については事務局で検討してもらう。
- 細澤室長 農協とのヒアリングや農協が得ているデータの提供は可能と考える。
- 山内委員 農業者に対する意向は把握しているので、農協では提供できる
ただ、雇用創出のためのアンケートは、農業だけでなく、商業など雇用者からのアンケートは必要と思う。
- 宮本委員 転出者からの回答はあまり期待できないのでは。
- 越後調査員 回答率は期待できないかもしれないが、転入者に対するアンケートとの比較分析をする上でも行ってみたいと考える。
- 堀川委員 信金(ネクストウェブ)や町内企業が独自に把握しているデータもあるので、その点も分析してみてはどうか。
- 越後調査員 今後、金融機関などとの意見交換も行っていきたい。
- (3) 幕別町まち・ひと・しごと創生に関するアイデア募集の結果について
資料5により西嶋副主幹から説明
- (4) 人口減少対策に関する若手職員プロジェクトチーム報告書について
資料6により西嶋副主幹から説明

(20時30分 終了)